

1 事業概要：三原内港再生事業

新規

申請者	広島県、三原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,979,100千円 (662,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 航路利用者、観光客が安全・快適に利用できるよう、港湾交流施設（「みなとオアシス」を核とした地区の賑わい創出拠点としての機能も兼用）を整備し、地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりに取り組み、観光振興を図る。 ・ 港湾交流施設周囲の緑地も一体的に整備することで、地域の活性化を図り、三原市の観光客数及びみなとオアシス利用者の増加、船舶乗降人員の維持を目指す。						
事業概要・ 主な経費	「みなとオアシス」を核としたにぎわいを創出する港湾交流施設整備、港湾交流施設周囲のインフラ整備及び官民協働のソフト事業を実施していく中で、地域間連携の推進及び三原内港を含む市中心部のにぎわいを創出する。					  港湾交流施設 整備イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・みなとオアシス人材育成支援事業（委託）1,000千円 ・試行イベント（社会実験）開催事業（委託）1,000千円 ○拠点整備事業 ・みなとオアシスや待合機能を有する港湾交流施設の整備 400,000千円 ○インフラ整備事業 ・緑地等施設整備事業 140,000千円 にぎわいの創出に向けたイベント広場機能や公園機能を有する緑地の整備を行う。 ・港湾改修事業 120,000千円 観光振興に資する受入環境の充実（老朽化及びバリアフリー化への対応）として棧橋屋根を設置する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①三原市の観光客数（+922千人） ②みなとオアシス利用者数（+6,408人） ③旅客船乗降人員数（+66千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(広島県) https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html (三原市) https://www.city.mihara.hiroshima.jp/sos/hiki/6/sougousenryaku.html

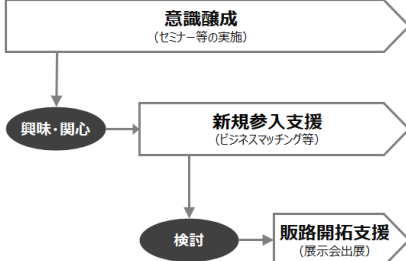
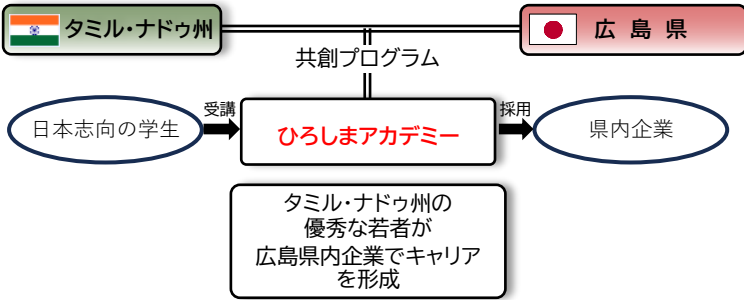
事業概要：地域ぐるみでの脱炭素支援体制構築事業

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,000千円 (21,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 県内企業の脱炭素経営支援を効果的に進めるため、金融機関や経済団体等と連携した支援体制を構築するとともに、脱炭素と経済成長を両立した新たなビジネスモデルを創出し、広く発信・展開することで、地域全体における脱炭素経営の取組拡大及び県内企業の競争力強化を図る。 ・ また、企業単位の節電を超え、地域一体となって省エネ等に取り組むことで、コスト削減による経済的メリットと環境負荷低減の同時達成を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 各関係機関が参加するコンソーシアムを設置し、地域全体の脱炭素化に関する取組情報の一元化や、脱炭素セミナー等の共同開催、企業と支援機関とのマッチング等を行う。 【R8年度事業 経費内訳】 ・コンソーシアム運営、企業と支援機関とのマッチング等（委託料）21,000千円					中小企業等 報告 要請、支援等 相談、報告 融資、助言・支援、対話 相談、報告 助言、情報提供 相談 省エネ診断等支援 大企業等 金融機関 経済団体等（産業界） 省エネ・脱炭素支援機関（※金融機関含む） 行政 補助金等 制度・情報連携 情報連携 情報連携 情報連携 マッチする支援機関を紹介 事務局サポートチーム（支援メニューの発信、支援メニューの紹介・ソリューション事業等とのマッチング支援） 自機関での支援が困難な場合支援メニューを確認・相談 ・コンソーシアムの運営 ・運営体制の検討、関係者との調整 ・補助制度等の情報提供、実施 ・事例づくりや横展開 等	
主なKPI	①広島県の電力コスト削減額（産業部門） （▲18,000百万円） ②支援した企業の省エネによるコスト削減効果 （▲4,500万円） ③脱炭素と価値創出を両立したモデル事例の数 （+9件）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：半導体関連産業集積促進・グローバル人材育成確保支援事業

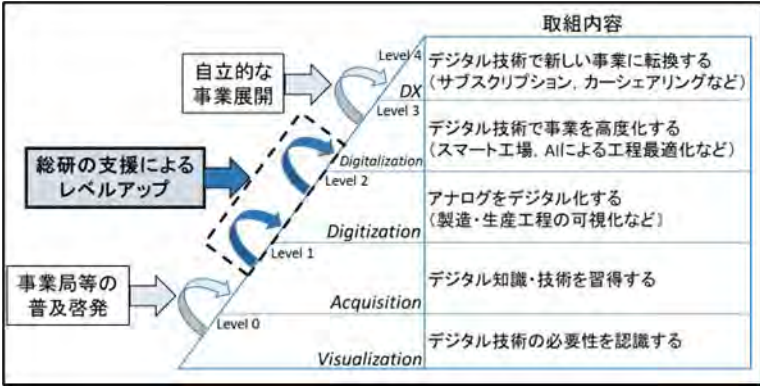
新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	145,511千円 (30,471千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・半導体関連産業の集積を強化するため、県内企業の半導体関連産業への新規参入の促進等を図り、県経済の持続的な発展につなげる。 ・県内企業が、アジアをはじめとした優秀な学生を高度外国人材として受け入れ、高度外国人材が活躍することにより、イノベーションの創出や海外展開など競争力強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ●半導体関連産業集積促進事業 半導体関連産業に参入していない県内企業に対し、 ・半導体産業に関するセミナー等を通じて、半導体関連産業への新規参入に対する興味・関心の醸成を図る。 ・興味・関心を持つ企業に対して、ビジネスマッチングなどを行い、具体的な参入に向けたサポートを行う。 加えて、半導体に係る展示会への出展を通じて、県内企業のPRや県の魅力・取組を発信することで、販路拡大等を図る。 ●グローバル人材育成・確保支援事業 インドのタミル・ナドゥ州と連携し、州内の大学生に対し、1年生から県内就職までの各段階で、日本語や日本文化に関する基礎教育、県内大学における専門教育、県内企業への就業を促進するためのインターンシップなどのビジネスプログラムを実施し、高度外国人材の育成と県内企業への供給のサイクルを構築する。					実施体制のイメージ ＜半導体関連産業集積促進事業＞  ＜グローバル人材育成・確保支援事業＞ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ●半導体関連産業集積促進事業 ・セミナー等による新規参入支援（委託料）22,105千円 ・展示会出展による販路拡大支援（委託料、使用料・賃料）4,004千円 ●グローバル人材育成・確保支援事業 ・県内セミナー及び企業の現地説明会の開催（委託料）4,362千円						
主なKPI	①県内の半導体関連産業に新たに参入した団体数（+7団体） ②半導体関連産業への新たな参入に関する相談件数（+275件） ③高度外国人材の県内企業への就職者数（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：デジタル技術開発・移転促進事業

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集											
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	73,755 千円 (23,755 千円)											
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業													
目的・効果	・物価高騰や技術者不足等の課題を抱える県内中小企業及び農林水産経営体（以下、事業者等）に対してデジタル技術の利用促進を図る。 ・デジタル技術に興味があるが取り組むに至っていない事業者等に対して、デジタル技術導入へのハードルを低減する。 ・事業者等がデジタル技術を活用することにより業務を効率化でき、生産性向上及び県経済全体の活性化に繋げる。																	
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 広島県が実施した実態調査において、多くの事業者が DX の必要性は感じているが、デジタル技術活用のイメージや効果が不明確であり、また費用負担が大きく投資に踏み切れていないことが示唆されている。事業者等へのデジタル技術の導入を促進するため、広島県立総合技術研究所において、事業者等のニーズに対応した新たなデジタル技術開発を行う。また、デジタル技術導入の効果を体感してもらうために、事業者等による検証等が可能な環境を整備する。 (1 年目) 試作を通じたシステムの仕様検討 (2 年目) プロトタイプ版作成 (3 年目) 試験運用を経て事業者等へ普及を開始できる完全版の完成					 取組内容 <table><tr><td>Level 4</td><td>デジタル技術で新しい事業に転換する (サブスクリプション、カーシェアリングなど)</td></tr><tr><td>Level 3</td><td>デジタル技術で事業を高度化する (スマート工場、AIによる工程最適化など)</td></tr><tr><td>Level 2</td><td>アナログをデジタル化する (製造・生産工程の可視化など)</td></tr><tr><td>Level 1</td><td>デジタル知識・技術を習得する</td></tr><tr><td>Level 0</td><td>デジタル技術の必要性を認識する</td></tr></table>			Level 4	デジタル技術で新しい事業に転換する (サブスクリプション、カーシェアリングなど)	Level 3	デジタル技術で事業を高度化する (スマート工場、AIによる工程最適化など)	Level 2	アナログをデジタル化する (製造・生産工程の可視化など)	Level 1	デジタル知識・技術を習得する	Level 0	デジタル技術の必要性を認識する
	Level 4	デジタル技術で新しい事業に転換する (サブスクリプション、カーシェアリングなど)																
Level 3	デジタル技術で事業を高度化する (スマート工場、AIによる工程最適化など)																	
Level 2	アナログをデジタル化する (製造・生産工程の可視化など)																	
Level 1	デジタル知識・技術を習得する																	
Level 0	デジタル技術の必要性を認識する																	
【R8年度事業 経費内訳】 ○新たなデジタル技術を取り入れた技術開発及び検証 (報償費、需用費、役務費、委託料、使用料) 12,967 千円 ○総合技術研究所内部人材育成 (需用費) 2,490 千円 ○新たなデジタル技術を取り入れた技術開発 (備品) (備品購入費) 8,298 千円					広島県立総合技術研究所のデジタルに関する技術支援													
主なKPI	①県の取組による付加価値創出額 (+1,920 億円) ②製品化・技術導入件数 (+156 件) ③デジタル技術の活用による事業者等の課題解決件数 (+222 件)					URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html											

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

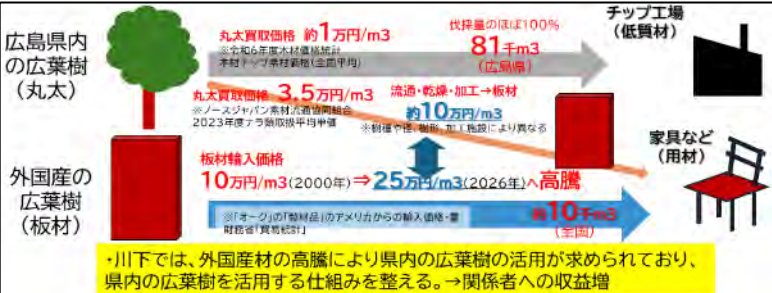
事業概要：農林水産業における生産体制の再構築

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	151,866千円 (51,822千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 農地の有効活用による生産性の高い農林水産業の確立に向け、スマート農業の実装が進むなど生産性の高い農業が確立され、企業経営を实践する経営体が育成されている状態を目指す。 - これを実現することにより、農業の魅力が高まり、企業経営を目指す若い農業者も増加している状態にするとともに、こうした経営体が農地を集積し、多様な主体と連携しながら農地を有効活用していくことにより、農産物の生産が拡大している状態を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 持続的な地域農業の維持に向けて、農地利用の将来像を明確化した地域農業将来ビジョンの作成から実行までの活動を支援することにより、多様な担い手への農地集積を図る。また、スマート農業機器等の産地全体への普及をより一層加速するため、産地における経営モデルを作成するとともに、異常気象による気象災害や病虫害被害による収量の減少の防止等を図るため、中山間地域において活用可能な農業気象データプラットフォームを構築する。さらに、企業経営体への成長意欲のある新規就農者の確保・育成を行うことにより、将来の農業の担い手を確保する。					農地 ・1.農地の有効活用・維持  生産性 2.生産性・収益性の向上  担い手 3.担い手の確保・育成 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域農業将来ビジョンの作成にかかる活動支援（委託料）10,993千円 ・スマート農業機器等の導入支援（補助金）29,200千円 ・農業気象データプラットフォームの構築（委託料）5,900千円 ・県主導研修機関の開設準備等（委託料）5,729千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（畜産物除く）（+6億円） ②地域農業将来ビジョン作成地区数（+30地区） ③スマート農業機器等の導入地区数（+30地区） ④農業気象データプラットフォームの県内カバー率（100%） ⑤農業気象データプラットフォームを活用したアプリケーション作成数（+15件） ⑥自営就業者数（+81経営体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：広島県の地域資源（広葉樹等）を活用した新たな魅力や価値の創造

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,320千円 (11,330千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・広葉樹資源の有効利用を進め、地域産業の活性化と雇用創出を図るとともに、広葉樹利活用の普及と定着により持続可能な林業の発展と地域活性化を目指す。 ・広葉樹利活用の拡大により関連産業の売上増加と雇用増が期待され、若者や女性の就業促進につながり、地域の人口増加や持続的発展に貢献する。							
事業概要・主な経費	【事業概要】 広葉樹の利活用促進に向けた調査を行い、需要と供給の情報共有やマッチングを図る。 モデル地区での試行を通じてビジネスモデルを確立し、将来的には広葉樹の産業基盤整備や人材育成も行い、持続可能な森林経営と地域経済の活性化を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・広葉樹利活用検討調査事業（委託料）11,330千円							
主なKPI	①県林業産出額（木材生産部門）（+3億円） ②林業に係る新規就業者の確保（+15人）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosimavision/machi-hito-shigoto.html	

7
事業概要：「森から海へ」広島かき生産改善対策による持続可能なまちづくり

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,834,900千円 (657,800千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 広島が誇る日本一のかき生産を持続的に推進し、地域を代表する食材として飲食や観光、関連産業や経済へ幅広く安定的に貢献している状態を目指す。 ・ かきの生産改善について、漁協が実施する現地実証において、実施方法や効果の高い対策が整理されることで、効率的かつ効果的な対策の実施につなげる。 ・ 森林の適切な管理や土砂流出防止が図られることで、栄養豊富なかきの生育環境の整備、かき養殖施設の保全が進み、地域が一体となったかきの生産体制の確立を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・かきのへい死低減を目的とした生産改善対策の実証に取り組むかき養殖関係漁協の支援を行うとともに、養殖漁場に直結する上流部の山地災害危険地区における治山事業の実施及び適正な森林整備による海への清浄な水の提供により、かきの生育環境の改善を図り生産量を安定させることで、加工・流通業などのかき関連産業の維持を図るとともに供給体制の確保による飲食や観光なども含めた地域経済の活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・かき生産改善実証（補助金）216,000千円 ○インフラ整備事業 ・治山事業（補助金）316,800千円 ・森林整備事業（補助金）125,000千円						
主なKPI	①かき生産量（+100t） ②林業に係る新規就業者の増加数（+15人） ③山地災害危険地区における治山施設整備の着手箇所（+60地区）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：とびしま海道観光コンテンツ創出事業

新規

申請者	広島県、呉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,892,564千円 (441,395千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・島しょ部（とびしま海道）の観光地を訪れてもらうことを通じて、呉市内における観光客の回遊性を高める。 ・このことにより、通過型の観光地となっている現状から脱却し、観光消費額を拡大させる。 ・また、観光客の利便性や満足度を向上させることにより、「観光」を新たな基幹産業にする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交流イベントやキャンプといった、より多くの人々が楽しむことができ、にぎわい創出につながる空間を提供できるよう、とびしま海道の観光拠点である県民の浜を再整備（多目的広場の整備ほか）することにより、呉市内における観光客の回遊性・利便性等を向上させる。 また、海外の外部有識者の意見を踏まえて観光コンテンツ（多言語対応ガイドツアー、自然体験ツアー等）の造成を図るほか、観光ルート・サイクリングロードとなる渡海橋の耐震対策により、観光客が安心して旅行できる環境を整える。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・サイクリスト誘客のための観光コンテンツ造成（委託料）3,174千円 ○拠点整備事業 ・とびしま海道の観光拠点である「県民の浜」の再整備 38,221千円 ○インフラ整備事業 ・蒲刈大橋の耐震補強工事 400,000千円 観光ルート・サイクリングロードを整備し、観光客の周遊環境を整える。						
主なKPI	①観光消費額（呉市内）（+85億円） ②宿泊者数（呉市内）（+20千人） ③レンタサイクル利用者数（+250人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（広島県） https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html （呉市） https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/7/atarashii.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：関係人口創出事業

新規

申請者	広島県					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,000千円 (50,000千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	- 都市部住民と中山間地域のつながりづくり（関係人口創出）により、地域内外の人の結集を図り、多様なコミュニティ活動の維持や活性化を目指す。 - 加えて、中山間地域の様々な分野における担い手不足の解消に向けた「人材育成・確保支援」に資する取り組みとして、地場産業の維持・成長支援にもつなげていく。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係市町との連携のもと、ウェブを活用したマッチングを行うポータルサイトを県が構築（サイト管理に必要なデータの入力更新等は県と市町等が共同実施）し、地域づくり活動実践者や地域づくり活動に参加したい者と、困り事などを抱える地域（住民自治組織等）を結びつけ、両者が協働したコミュニティ活動（農作業、道・水路の普請、伝統文化等の維持）を実施していきながら、地域の持続性を保持していく。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・関係人口創出に向けたプラットフォームの設置、総合調整、情報発信、イベント等の実施（委託料）50,000千円							
主なKPI	①全域中山間地域における関係人口増加数（+300人） ②マッチングポータルサイト活用市町数（+10市町） ③関係人口（地域外の人的リソース）を活用した仕組みづくりに着手した市町数（+5市町）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html	

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：中国地域インバウンド誘致強化促進プロジェクト

新規

申請者	鳥取県ほか 4 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	123,000千円 (41,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	政府が掲げる2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人実現に向けて、都市部から地方への誘客を促進するため、中国地域におけるインバウンドの広域周遊観光施策を磨き上げ、中国 5 県の官民が連携して設立した「中国地域観光推進協議会」において、中国地域へのインバウンド誘致を強化・促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①広域プロモーションなど海外情報発信の強化 ・中国地域の特色を活かしたブランド設定、広域周遊ルート設定等を行い、台湾を中心とした東アジアに加え、訪日意欲の強い東南アジアなど他市場を念頭に、観光関係者と連携した F A Mや商談会・交流会、旅行博やインフルエンサーなどを活用した情報発信等を強化。 ②広域周遊の促進に向けた事業展開 ・多様なモビリティの移動環境整備を促進し、民間企業と連携した周遊性を促す商品開発、レンタカーを活用した旅行商品造成等を行うとともに、受入環境整備に向けた案内所研修会実施など、中国圏内における広域周遊の促進に向け、デジタル技術を活用した事業を強化。						
	【R8年度事業 経費内訳】 1 広域プロモーションなど海外情報発信の強化 27,000千円 ①明確なブランドコンセプトの設定 4,000千円 ②広域プロモーションの統一化 6,000千円 ③広域周遊ルートの設定 4,000千円 ④中国地方インバウンドフォーラムの開催 9,000千円 ⑤海外現地での商談会・交流会 2,000千円 ⑥旅行博を活用した情報発信 2,000千円 2 広域周遊の促進に向けた事業展開 14,000千円 ①交通事業者等（JR西日本、両備HD、JTＢ等）と連携した商品開発・販売促進 6,000千円 ②レンタカーでの周遊促進事業（域内外空港からの移動手段確保）7,000千円 ③外国人観光案内所研修 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中国地方における外国人延べ宿泊者数（+560千人泊） ※2024年の中国地方における外国人延べ宿泊者数：約2,800千人泊の1.2倍を目標と設定。 ②中国地方における一般客（観光・レジャー目的）の訪問地別1人1回当たり旅行消費単価（+7,666円） ※2024年の中国地方における一般客（観光・レジャー目的）の訪問地別1人1回当たり旅行消費単価：38,332円の1.2倍を目標と設定。					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要：若年層の人口好循環創出プログラム事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,129,627千円 (258,090千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的（効果）	・若者たちが、企業、地域と協働し、広島ならではのベネフィットを享受し、実感する状態をつくるとともに、そういった実態があることを伝えていくことでポジティブなイメージを向上させ、広島でやりたいことにチャレンジし、暮らせる社会の実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2030年の社会動態の均衡を目指して、個々の転出要因に応じた対策として、 ①県内企業や大学等の認知向上の後押し ②魅力的な産業の集積や環境整備の支援 ③若年層の定着・回帰に向けたムーブメント創出及びブランド構築 の3領域に総合的に取り組み、若年層の定着・回帰に向けた流れを創り出す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県内企業や大学等の認知向上の後押し ・高等教育の充実（県外での合同大学説明会開催等）（委託料）12,672千円 ・若年者等の県内就職・定住促進（ひろしま就活サポーター情報発信等）（委託料）23,118千円（補助金）28,000千円 ・特設サイト開設等、地元企業と連携したキャリア教育推進（委託料）2,000千円 ○若者に選ばれる魅力的な職場環境整備の支援 ・人的資本経営の推進に関する機運醸成のためのイベントの開催（委託料）8,800千円 ・県内企業の取組意欲の喚起につなげるための企業訪問（委託料）6,500千円 ・研究会の運営（研究会活動支援等）（委託料）42,000千円 ○若年層の定着・回帰に向けたムーブメント創出及びブランド構築 ・若者の定着・回帰に向けた広報プロモーションの実施（SNSを活用した広告等）（委託料）120,000千円 ・ブランド価値の向上につながる魅力づくり（県内周遊・再来訪の促進等）（負担金）15,000千円							
KPI	①社会減の抑制（転出超過数）（▲900人） ②20～24歳の「就職」を理由とした転出超過数（▲600人） ③大学等進学時における転出超過数（▲300人） ④県外からの移住世帯数（移住施策捕捉分）（+90世帯）					関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosimavision/machi-hito-shigoto.html	

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：ひろしまスタイル移住・マッチング支援事業（第2期）

継続

申請者	広島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	512,541千円（109,764千円）
事業タイプ・類型	移住・起業・就業型	事業分野	—
目的・効果	移住支援金による「子育て世帯」の呼び込みの強化や地方就職支援金による大学生の転入促進と併せて、起業により中山間地域の課題を解決しようとする意欲ある人材の移住を後押しすることにより、東京圏から本県への移住促進に取り組む。		
事業概要・ 主な経費	○広島県移住・マッチング支援事業（補助金）（72,420千円） ・就業を伴うU/Iターン者の増加を図るため、東京23区に一定期間在住又は通勤している者が移住して、一定の要件を満たした場合に、広島県と居住地の参加市町が協働して移住支援金を支給する。また、移住支援金の対象企業等を掲載するマッチングサイトを開設・運営するほか、対象企業等が人材確保に効果的な求人広告をマッチングサイトに掲載できる取組を行う。 ○首都圏在住大学生の転入促進（補助金）（7,344千円） ・東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からのU/Iターン就職を促進するため、学生の広島就職に向けた就職活動に係る交通費及び広島県内に移住した者に移転費への支援を行う。 ○中山間地域の地域課題の解決を目的とした起業等への支援（補助金）（30,000千円） ・中山間地域の課題解決を目的とした起業及びSociety5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での、デジタル技術を活用した事業承継又は第二創業について、地域活性化、まちづくりの推進、買物弱者支援、子育て支援、社会教育関連、社会福祉関連、地域交通支援、空き家・空き店舗等の活用、有害鳥獣対策等の社会的事業分野において起業等をする者に対し、起業経費を補助する。		
KPI	①本移住支援事業に基づく移住者数（1,892人） ②本起業支援事業に基づく起業者数（+40人） ③マッチングサイトに新たに掲載された求人数（+1,950件） ④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数（+132世帯） ⑤マッチングサイトに新たに掲載された求人数（移住求人数以外を含む全体の掲載求人数）（+11,000件） ⑥「Go!ひろしま」LINEに新たに登録した学生数（+8,000人）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	【移住支援金・地方就職支援金】 移住者には県内実施市町から支援金を支給 【起業支援金】		
関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html		

事業概要：おいしい！広島推進事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	295,797千円 (98,599千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・県内外から「広島は美味しさの宝庫である」ことが認知・共感され、評価を高め合うことで、県民が広島の食を誇りに思い、お勧めしている状態や、県外の方から食を目的に何度も訪れたいと思う状態を目指す。 ・むき身加工の副産物である「かき殻」を本県特有の地域資源として有効活用し、むき身出荷を主体とする広島かきの持続的な養殖生産を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○おいしい！広島推進事業 ・食の磨き上げの成果を体感できる機会創出に向けた取組等、県民自身が広島の食資産を再認識・評価することにつながる取組みをすすめる。 ・来広者の動線を捉えた切れ目ない情報発信の実施等、県外の来訪者に、広島のおいしさを体感いただく動線を構築するとともに、県外の多くの人から、広島の多様で美味しい食資産が高く評価されているという認識を広める取組みをすすめる。 ○かき殻の新たな用途の創出支援事業 ・持続的なかき殻の利用量拡大を目指して、かき殻を活用した新たな製品・用途の開発及びかき殻製品の利用拡大に向けた取組みを支援する。					首都圏等プロモーションの実施 おいしい！広島の受け皿づくり ○「おいしい！広島」イメージの更なる定着による県民の誇りの醸成 ○首都圏等でのプロモーションと連動した魅力ある広島の食への誘導 かき殻リサイクル製品の開発やかき殻原料の低コスト化を促進 広島のおいしいイメージの醸成によるひろしまブランドの強化 かき殻の有効活用による持続的なかき養殖生産の実現 地域経済の活性化		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○おいしい！広島推進事業（委託料）88,599千円 ・県民が広島の食資産を再認識・評価することにつながる取組 ・広島の多様で美味しい食資産が高く評価されているという認識を広める取組 ○かき殻の新たな用途の創出支援事業（補助金）10,000千円 ・新たなかき殻製品・用途の開発及びかき殻製品の利用拡大の取組を支援							
主なKPI	①農業生産額（+33億円） ②県民のおいしい共感度（+8.1%） ③首都圏のおいしい共感度（+8.0%） ④かき殻製品・用途の開発に取組む企業数（+6社）					URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosimavision/machi-hito-shigoto.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値								

事業概要：データと新技術を活用したまちづくり（スマートシティ化）推進事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,250千円 (17,750千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	・中山間地域をはじめとした移動需要の少ない地域においても、持続可能性の高い生活交通サービスを提供していくための人材育成や実証実験を行うことで、次世代に渡って安心して住み続けることができる持続可能な地域社会を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中山間地域をはじめとした移動需要の少ない地域においても、持続可能性の高い生活交通サービスを提供していくため、取組の基盤となる人材の育成に取り組む。 モビリティデータ連携基盤において、データの拡充及び分析機能の詳細化（機能強化）を進めるとともに、それを取り扱う人材に対して、知識・ノウハウの蓄積を図るための研修を提供する。 ※モビリティデータ連携基盤については、令和7年度デジタル実装型TYPES（デジタル行財政改革先行挑戦型）を活用し、交通決済データ分析の追加等の機能強化を実施。引き続きユーザービリティ・利用頻度の向上を目的とした操作性・視認性等の改善や施策の評価や改善のためのアクセシビリティ分析機能の追加等、さらなる機能強化を実施予定（地域未来交付金を別途申請予定）。 また、新たな技術の導入や新規路線の設定についての情報を収集し、実装に向けて取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・公共交通を支える人材育成（委託料）7,750千円 ・新たな交通サービスの導入に向けた自動運転バス導入モデルケース作成（委託料）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内各拠点のアクセシビリティ（+0ポイント（維持）） ②人づくり研修の参加市町数（+6市町） ③広島県モビリティデータ連携基盤の活用市町数（11市町） ④新たな交通サービスの導入に向けた取組件数（+8件） ⑤広島空港と主要拠点を結ぶ公共交通の新規ルート数（+0ルート）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：ひろしま里山・人材力加速事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	25,500千円 (6,500千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・高齢化・小規模化する集落活動への人的支援や、都市部住民と中山間地域のつながりづくり（関係人口の創出による地域コミュニティの維持）を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口と地域住民との交流によるイノベーションや新たな価値の創出を目的としたワークショップ等を開催する。 ワークショップでは、地域内外の人材をつなげるためのプログラムの構築手法・体制のあり方を、他県の優良事例等を通じて学んだり、各地域の特性（地理的要素、高齢化の状況、伝統行事の有無等）に応じたプログラム検討を行う。					都市部 住 民 企 業 大学等 つながりづくり ワークショップ (県＋協力市町) 中山間地域 農作業 道路等の 普請 祭りなど		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ワークショップ等開催経費（委託費）6,500千円 1年目にワークショップを通じて市町の独自取組へつながった事例等も共有し、地域外の人材活用の仕組みづくりに取り組む市町をさらに拡大させる							
主なKPI	①全域過疎地域における交流人口増加数（県中山間地域関係施策把握分）（+450人） ②関係人口（地域外の人的リソース）を活用した仕組みづくりに着手した市町数（+6市町） ③マッチングポータルサイトの運用に協力する市町数（+15市町）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hirosimavision/machi-hito-shigoto.html	

申請者	広島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,500千円 (4,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・人口減少が進み、少子・高齢化が加速する中においても、人生100年時代に向けて、ライフステージに応じた健康づくりが県民や県内企業など県全体に浸透することで、健康寿命が延伸し、地域社会の担い手の確保や中小企業等における労働力の確保を図る。 ・県民一人一人が生涯にわたって健康で活躍できるライフワークバランス及び「生涯活躍社会」の実現を目指し、地域における人口一人当たりの労働生産性の上昇につなげる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○課題を抱えるターゲット層に対する啓発 若年女性がどういふきっかけで健康づくり（運動・睡眠習慣の改善）に取り組むのか、行動変容に繋がるポイントを踏まえた啓発を実施する。 ○多様な主体と連携した、県民総ぐるみの健康づくり 「健民運動推進会議」主催のイベントを実施し、関係団体や企業等と連携し、本県女性の健康課題に関する啓発を実施する。 世界骨粗鬆症デー前後の期間を中心に、県内一斉の啓発を実施し、骨粗鬆症に関心の低い層（特に若い女性）も含めた認知度を向上。						 ※イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・課題を抱えるターゲット層への啓発の実施（委託料）1,000千円 ・健民運動による県民総ぐるみの健康づくりの実施（負担金）2,000千円 ・官民が連携した県内一斉の「骨活」の啓発（委託料）1,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+13.2千円） ②運動習慣のある人の割合（+2.4%） ③睡眠による休養が充分にとれていない人の割合（▲1.5%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：外国人材の受入・共生対策事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,705千円 (8,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内企業等において、外国人材の円滑な受入・就労に必要な環境が整えられ、外国人が地域とつながりを深めながら、生活に必要な情報の共有が進むことにより、外国人が困ったときに相談できるなど、孤立することなく安心して生活し働くことができ、企業における戦力として活躍できる環境の整備を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本語学習支援のe-ラーニング講座を開設し、県内の外国人材受入企業の個社ごとのニーズ・レベルに合った日本語学習や企業へのコーチング支援を行うことで、技能実習制度から育成就労制度への制度変更及び外国人材の特定技能1号への円滑な移行に向け、企業自身が外国人材の日本語学習を支援できる体制の構築を目指す。					日本語学習支援事業リーフレットイメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 日本語学習支援のe-ラーニング講座運営及びコーチング支援（委託料）8,500千円						
主なKPI	①社会減の抑制（転出超過数）（▲900人） ②県から外国人材の受入れに関する情報提供を受けた企業のうち、有益な情報を得た企業等の割合（+5%） ③日本語学習コーチング支援社数（+180社）					URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroschimavision/machi-hito-shigoto.html



事業概要：環境・エネルギー産業集積促進事業（カーボンリサイクル技術の推進）

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	506,290千円 (187,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・カーボンリサイクル（CR）関連技術の研究強化と拠点化により、カーボンリサイクル先進地としてのブランドを確立するとともに、新たな産業集積により、カーボンリサイクルを産業の柱の一つとして育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 （１）カーボンリサイクル関連技術の研究・実証支援 CR関連技術の研究・実証支援制度として、補助金の支給に加え、将来的なステップアップを見据えた伴走支援（NEDO、VCの大型資金獲得等）を実施するもの。 （２）研究拠点性の強化 広島県内でモデルとなるCR製品の普及に資する事業に補助するとともに、研究事例や企業の取組の情報発信や大崎上島のNEDO CR実証研究拠点における拠点性強化、若手研究者の育成と環境教育を実施することで、広島県のCR研究拠点のブランド化を図る。						■ 拠点化 国等と連携した大崎上島研究拠点の機能の充実等により、カーボンリサイクルの研究強化と「拠点化」を図り、我が国のカーボンリサイクル技術をリードし、ブランド化を進めます。 ■ 新産業の集積 カーボンリサイクルに資する製品開発やサービス提供に取り組む企業への支援や、企業の県内への積極的な誘致により、「新産業の集積」を図ります。
	【R8年度事業 経費内訳】 ・カーボンリサイクル関連技術の研究・実証支援（補助金）130,000千円 ・ステップアップ支援補助事業の運営（委託費）38,200千円 ・実証プロジェクトワーキングの立ち上げ、次世代教育事業の展開（委託費）11,500千円						
主なKPI	①広島県の取組による環境・エネルギー分野の付加価値額（+46億円） ②広島県内でのカーボンリサイクル技術の社会実装件数（+2件） ③CR関連技術の研究・実証支援件数（+30件） ④推進協議会加盟者数（+30者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：AIを活用したソリューション開発支援事業

継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	606,000千円 (200,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 県内企業・自治体が抱える課題を、マッチングを通してソリューション開発・実証を行い、ビジネス変革に取り組む企業を増やすことで、県内で変革を必要と感じる企業や、実際に変革に取り組む企業の増加に導く。また、そのような企業を増やすことで、広島のデジタル技術に関するマーケットの周知にもつながり、首都圏に集中しているAI開発者の広島県への事業進出を促す。 - 県内でA Iを活用したソリューション開発にチャレンジできる環境を提供することで、A Iを活用して新ビジネスにチャレンジしようとする企業・人材を広島に集積させ、将来的には、人材と企業の好循環が生まれるイノベーション・エコシステムの形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業・自治体が抱える課題を掘り起こすとともに、それらを解決するソリューションを提案するA I 開発者を、県内外から募り、マッチングする。マッチングが成立した案件について、A I ソリューションの開発・実証を行うために要する経費に対して補助する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・AIソリューション開発・実証経費（補助金）200,000千円 補助率 1 / 2 補助上限額 100,000千円 （想定）20件×10,000千円						
主なKPI	①イノベーション実現企業率（+6.0%） ②AIを活用したソリューション開発・実証の実施件数（+60件） ③課題解決力向上ワークショップ参加者数（+50人） ④イノベーション活動実行企業率（+6.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroschimavision/machi-hito-shigoto.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：中小企業イノベーション促進支援事業（スマートファクトリー推進事業）

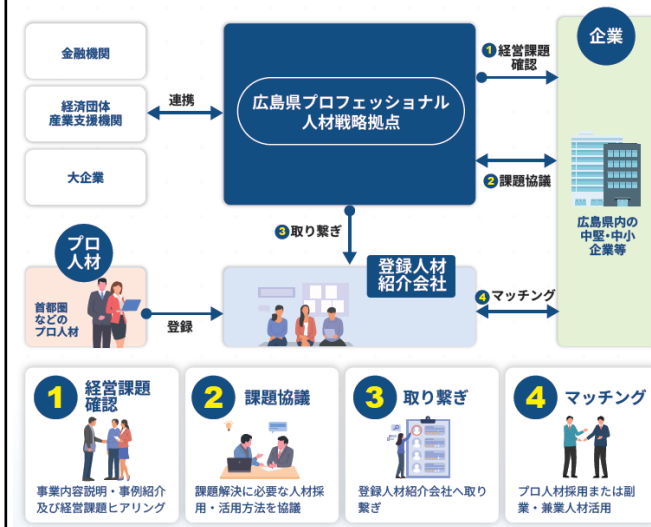
継続

申請者	広島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	144,900千円 (55,804千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 人手不足問題を抱える県内中小製造業企業において、産業用ロボット等の省力・自動化システムの導入や生産工程のデジタル化などの取組を進めることにより、生産性向上を図り、人手不足解消へつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内製造業における生産工程全体の最適化を図るため、産業用ロボット等の省力・自動化システムの導入をはじめとする生産工程全般のDXを推進する専門家チームが伴走支援を行う。					 出典：「中小企業支援機関のためのロボット導入支援の手引き」P6(経済産業省) https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/index.html	
	【R8年度事業 経費内訳】 県内産業支援機関が行う事業に要する経費への補助 (1)ユーザー企業のニーズ掘起し (2)相談窓口でのコンサルティング (3)生産工程全般のDX等に係る先進事例調査等 (4)ユーザー企業の人材育成(セミナー・研修)を実施する。 (補助金) 55,804千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県の取組による付加価値創出額（+1,920億円） ②県内中小製造業企業における生産工程DXの取組着手件数（+50件） ③県内中小製造業企業における生産工程DXの企画立案支援件数（+76件） ④県内中小製造業企業における生産工程DXの相談件数（+249件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要：プロフェッショナル人材マッチング事業

継続（R8更新）

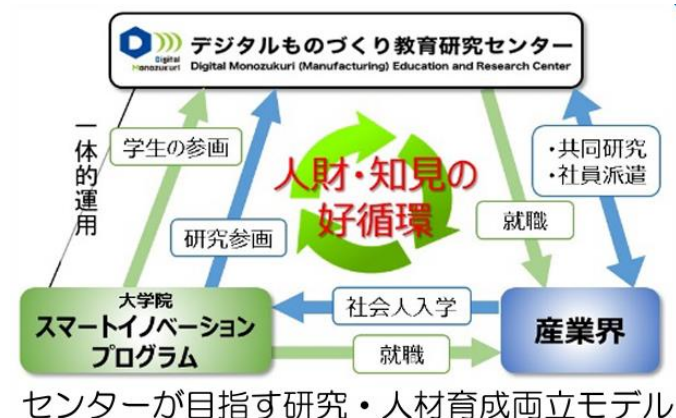
申請者	広島県	初回採択回	令和8年度第1回募集
事業計画期間	R8-R12年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	487,355千円（97,471千円）
事業タイプ・類型	プロフェッショナル人材事業型	事業分野	—
目的・効果	国（内閣府）や他の道府県と連携して、プロフェッショナル人材を大都市圏から本県へ還流（U I Jターン）する取組を推進していくとともに、地域の幅広い企業に対して最適な人材マッチングの支援を行うことにより、強い地域経済の構築を図る。		
事業概要・主な経費	○プロフェッショナル人材戦略拠点の運営（委託料等）（35,270千円） ・大都市圏等のプロフェッショナル人材と県内中小企業等のマッチング支援 ・県内の受入企業の掘り起こし（地域金融機関や地元経済団体等と連携） ○プロフェッショナル人材戦略拠点の機能強化（体制拡充事業）（報償費等）（6,201千円） ・サブマネージャー（1名）の増員により、デジタル人材の地域への還流、副業・兼業の活用を視野に入れたフォローアップ訪問を強化するとともに、県内中堅・中小企業の経営者に対するデジタル人材を含む副業・兼業人材活用に関する意識啓発のためのセミナー等を企画 ○人材採用コストの支援（交付金等）（36,000千円） ・人材紹介手数料の1/2を助成（上限額 100万円/経営者層の場合200万円） ○副業・兼業支援（交付金等）（20,000千円） ・業務委託料に35/100を乗じて得た額の1/2を助成（上限額 50万円） ・副業・兼業人材の初回活用においては、業務委託料に8/10を乗じて得た額を助成（上限額 50万円）		
KPI	①雇用及び副業・兼業によるデジタル人材等を含めた人材マッチング件数（+12件） ②地域企業の経営課題に関する相談件数（+20件） ③プロフェッショナル人材の正規雇用、副業・兼業人材活用数（+12人） ④副業・兼業人材の新規活用企業へのマッチング件数（20件維持）		関連URL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html



事業概要：ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム

継続

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,677,538千円 (558,633千円)
事業タイプ・類型	地方大学・地域産業創生交付金	事業分野	—
目的・効果	本県の中核的な産業である自動車産業が100年に一度と言われる変革期にある中、地域の産学官金が一体となって、モデルやデータ等のデジタル技術を活用したものづくりイノベーションを実現するとともに、データサイエンス等の活用により、地域産業における、新ビジネスの展開や生産性向上等を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○カーボンニュートラル対応推進事業（補助金）519,077千円 ・これまでの研究開発成果を応用し、今後の自動車産業の主要課題である電動化に資するスマートな蓄電池システムとスマート空調システムの研究開発を実施 ○高度デジタルイノベーション人材育成PJ実施事業（補助金）37,556千円 ・地域の主要産業でありソフトウェアの重要性が増している自動車分野において、社会人向け大学院レベル教育を推進		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①輸送用機械器具製造業の生産額の増加額（+8,734億円） ②輸送用機械器具製造業の雇用者数の増加数（+4,406人） ③専門人材育成プログラム受講生の地元就職数（+30人）	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html



事業概要：データ連携基盤（DoboX）を核とした新たなサービスの提供

新規

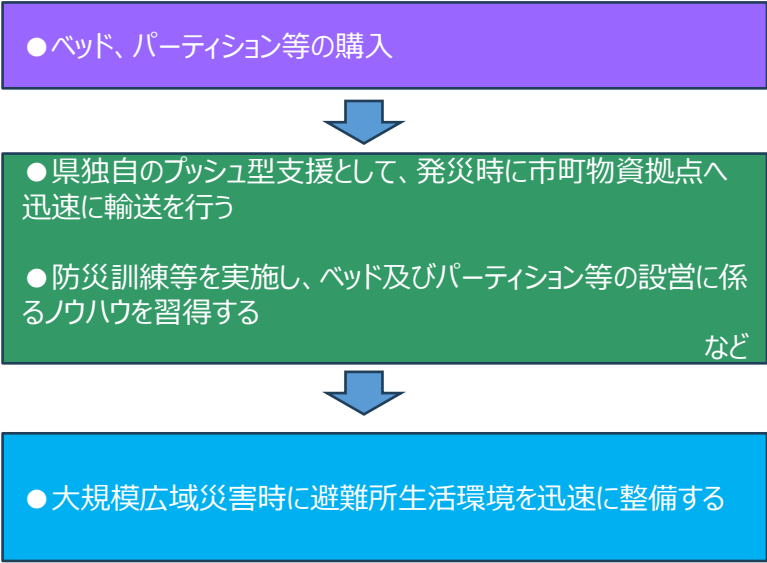
申請者	広島県	初回採択回	—
事業計画期間	R8年度	事業費	10,000千円
事業タイプ・類型	デジタル実装型（TYPEA）	事業分野	—
目的・効果	本県では、「災害死ゼロ」を掲げて様々な取組を進めているが、災害発生前の避難準備やハザードマップの認知が十分ではないなど、平時からの備えに課題がある。そのため、水道などのライフラインに関する情報や災害発生箇所などを一元化して公開し、災害発生前の避難準備に活用できるようにするとともに、災害発生後の身の回りの危険箇所の可視化等を行うことで、これまで以上の適切な避難誘導及び早期復旧を図る。		
事業概要・主な経費	○ライフラインに関する情報や災害発生箇所などの情報の一元化及び公開（委託料）（10,000千円） ・国・県・主要な市町の道路規制情報（通行止めや片側交互通行、通行規制など）のデータを可視化して、公開する。 ・道路規制情報だけでなく、市町が保有する災害リスク情報（内水浸水想定区域図）や指定道路図などデータ拡充を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	【アウトプット指標（活動指標）】 ①データ連携基盤から提供するデータ数（+60件） ②防災情報マップのアクセス数（+21,000）	【アウトカム指標（成果指標）】 ①水害・土砂災害リスクの認知度（+3ポイント） ②防災情報発信に対する満足度（+30ポイント）	



申請者	広島県	初回採択回	—
事業計画期間	R8年度	事業費	174,458千円
事業タイプ・類型	デジタル実装型（TYPES）	事業分野	—
目的・効果	・今後も救急搬送件数の増加が見込まれる中、更なる「救急搬送の迅速化」や「業務の効率化（業務負担軽減）」などを図るため、救急隊と医療機関に関連するシステムとの連携を強化するため、広島県救急搬送支援システム（救急医療情報連携プラットフォーム等）を試験的に改修・運用を行う。 ・救急隊や救急医療機関等の協力を得て、救急医療の質の向上や救急医療体制等に与える効果を検証する。 ・事業の成果を踏まえ、全国展開に向けたシステム仕様案の策定や課題抽出を行う。		
事業概要・主な経費	○広島県救急搬送支援システムの機能拡充（委託料） 174,458千円 ・救急医療及び災害医療に係る情報連携体制の維持・強化を図るとともに、救急搬送支援システムの機能拡充により、救急搬送及び医療機関における受入れの更なる迅速化及び効率化を図る。 【拡充する機能】 ・民間救急システム連携の拡張 ・医療者間チャットアプリの連携 ・消防OA連携 ・マイナ救急連携（検証） 本事業において実装するシステムの全体像		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①プラットフォームを利用して調整した救急搬送の割合（+10ポイント） ②傷病者受入に対するシステム利用率（+4ポイント）		

事業概要：避難所における生活環境改善・整備事業【令和8年度】

新規

自治体名	広島県	人口	2,799,702人	事業費	119,891千円
事業概要	大規模広域災害時に、救助の実施主体となる県の責務として、被災者ニーズに対応できない市町へプッシュ型支援を実施し、避難所の環境改善を図るため、ベッド及びパーティション等の備蓄を行う。				
購入する 資機材等の 内容	○エアベッド 17,000個 25,245千円 ○簡易ベッド 500個 5,445千円 ○パーティション 9,740個 67,859千円 ○扇風機 120個 1,397千円 ○スポットクーラー 120個 12,273千円 ○電気ストーブ 120個 856千円 ○石油ストーブ 120個 3,936千円 ○電磁調理器 240個 2,880千円		 ●ベッド、パーティション等の購入 ●県独自のプッシュ型支援として、発災時に市町物資拠点へ迅速に輸送を行う ●防災訓練等を実施し、ベッド及びパーティション等の設営に係るノウハウを習得する など ●大規模広域災害時に避難所生活環境を迅速に整備する		
KPI ※カッコ内の数値は「KPI増加分の累計」の目標値	【アウトプット指標（活動指標）】 ①県の防災訓練等における利用件数（+3回） ②ベッド及びパーティション等を迅速に設置するノウハウを習得した人数（+30人）		【アウトカム指標（成果指標）】 ①発災72時間以内に県備蓄分のベッド及びパーティション等を基幹的な避難所に設置する図上訓練を実施した市町数（+3市町）		

事業概要：先端メモリ半導体（DRAM）の生産拠点におけるインフラ整備事業

継続

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,370百万円（3,668百万円）
事業タイプ・類型	インフラ整備推進タイプ	事業分野	—
目的・効果	・国策プロジェクトである半導体生産拠点における工業用水需要の増加に対応するため、工業用水道施設の整備を行うことで、工業用水の安定供給を可能とし、地域経済の活性化を図る。 ・国策プロジェクトである半導体生産拠点周辺における交通需要の増大に対応するため、道路の整備を行うことで、物流の効率化・円滑化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○工業用水道事業（3,073百万円） ・増圧ポンプ設備・建屋新設工事 ・調整池新設工事 ・工業用水配水管新設工事 ○道路事業（595百万円） ・道路整備（現道拡幅、舗装修繕） ※工業用水道事業は、広島県水道広域 連合企業団による取組 ※道路事業の金額には市実施分も含む。	 調整池新設状況（令和 8 年 5 月時点）  道路整備状況（一般国道375号御園宇バイパス）（令和 8 年 6 月時点）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①国策プロジェクトである半導体生産拠点における工業用水の将来需要に 対する供給の割合（+34.9%） ②国策プロジェクトである半導体工場から高速道路ICへのアクセス道路にお ける旅行時間の短縮（2分短縮）		関連 URL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ site/hiroshimavision/machi-hito- shigoto.html